

高市政権下の「経済安全保障」と企業知財戦略の転換： 新・サナエノミクスがもたらすルール変更

「新・サナエノミクス」と17の戦略分野

17の戦略分野への集中投資プログラム

AI、半導体、量子、核融合など「戦略的不可欠性」を持つ特定分野へ政策リソースを集中投下する。

戦略的不可欠性 (Strategic Indispensability)

他国が日本に依存せざるを得ない技術・義品を確保し、国際的な発言力を高める基本概念。

コア戦略分野

AI、半導体、原子力、量子

高規制・高支援（特許非公開のリスク大）



レジリエンス・インフラ

重要鉱物、エネルギー、造船

国内基盤の強靱化（供給網の多角化）



未来成長・市場主導

航空・宇宙、バイオ、コンテンツ

官民連携による国際標準化と収益化



経済安全保障を「第4の矢」 に据えた成長戦略

危機管理を「コスト」ではなく「投資」と定義し、国家の生存に関わる分野へ大規模な財政出動を行う。



企業の知財・セキュリティ戦略の再構築



「特許公開」から「戦略的秘匿」へのシフト

特許非公開制度の運用強化に伴い、重要技術をあえて出願せず営業秘密として管理する判断が必要。



セキュリティ・クリアランス (SC) の完全実装

政府調達や共同研究への参加条件として、従業員の適性評価と物理的な情報管理体制が必須となる。



CIPO × CSO による 統合ガバナンス

知財責任者とセキュリティ責任者が連携し、技術の「創出」から「防御」までを一元管理する。